

硬筆指定課題 評価の観点

《中学楷書》

大平恵理 書

説明の
記号

始めに、姿勢と筆記具の持ち方を確かめます。

正しく整えて読みやすく書くことが大切です。「止め・はね・はらい、線
の長さや方向、あき、折れ、折り返し、曲がり、そり、線と線の接し方と
交わり方、一字一字の組み立て方、筆順、筆圧」に気をつけて書きましょう。

手本の文字を見ながら、右のマスに書いてみましょう。

説明の記号

- 外形: 外枠の形状を示す図
- 注意するところ: 注意すべき部分を示す図
- 同じ広さのあき: 同じ幅の隙間を示す図
- 広いあき / 狭いあき: 幅の異なる隙間を示す図
- 曲がり: 曲がる部分を示す図
- 方向: 線の向きを示す矢印
- 長さ: 線の長さを示す矢印

一字一字の外形、文字の大きさや幅、行の中心、配置などを考えて、真っ直ぐ書くようにしましょう。半分の高さで見当をつけ、バランスよく収めるようにします。

① 勉強と部活の両立が難しい。

② 勉強と部活の両立が難しい。

※わくの両はじの「・」は1/2の高さを示しています。

氏名は上と下のあきをそろえて、かだいの文字より少し小
さめに書きます。

中